

第6回あわら市水道料金等検討委員会 会議録（要旨）

1. 日 時	令和2年1月15日(月) 10:30~12:07						
2. 場 所	あわら市役所 101 会議室						
3. 議 題	(1) 公衆浴場及び温泉汚水使用料について (2) 提言書について (3) 改定に向けた今後の取組み						
4. 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1 (第6回水道料金等検討委員会資料) ・ 資料2 (提言書案) ・ 資料3 (シミュレーション内容) ・ 県水受水に対する福井県への特別要望書 						
5. 出席者	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">委 員 :</td> <td>浅沼美忠、谷口環、近藤淳一、達川昌美、中嶋敬造、高橋昌則、高橋紀美、宮川修治、前田健二</td> </tr> <tr> <td>事務局 :</td> <td>城戸橋政雄 (副市長)、小嶋範久 (土木部部長)、伊藤裕一 (土木部理事)、岩田利和 (上下水道課長)、浅田政幸 (上下水道課長補佐)、山口功治 (上下水道課長補佐)、江守伊佐子 (上下水道課主査)、東真一郎 (上下水道課主査)</td> </tr> <tr> <td>オブザーバ :</td> <td>高橋啓一 (芦原温泉上水道財産区管理者)、山岸 (芦原温泉上水道財産区事務局次長)</td> </tr> </table>	委 員 :	浅沼美忠、谷口環、近藤淳一、達川昌美、中嶋敬造、高橋昌則、高橋紀美、宮川修治、前田健二	事務局 :	城戸橋政雄 (副市長)、小嶋範久 (土木部部長)、伊藤裕一 (土木部理事)、岩田利和 (上下水道課長)、浅田政幸 (上下水道課長補佐)、山口功治 (上下水道課長補佐)、江守伊佐子 (上下水道課主査)、東真一郎 (上下水道課主査)	オブザーバ :	高橋啓一 (芦原温泉上水道財産区管理者)、山岸 (芦原温泉上水道財産区事務局次長)
委 員 :	浅沼美忠、谷口環、近藤淳一、達川昌美、中嶋敬造、高橋昌則、高橋紀美、宮川修治、前田健二						
事務局 :	城戸橋政雄 (副市長)、小嶋範久 (土木部部長)、伊藤裕一 (土木部理事)、岩田利和 (上下水道課長)、浅田政幸 (上下水道課長補佐)、山口功治 (上下水道課長補佐)、江守伊佐子 (上下水道課主査)、東真一郎 (上下水道課主査)						
オブザーバ :	高橋啓一 (芦原温泉上水道財産区管理者)、山岸 (芦原温泉上水道財産区事務局次長)						
6. 傍聴人	なし						
7. 会議録							
1. 委員長あいさつ	(委員長挨拶)						
2. 副市長あいさつ	(副市長挨拶)						
3. 議事 (1) 公衆浴場及び温泉汚水使用料について	(事務局より資料1をもとに公衆浴場及び温泉汚水使用料について説明)						
委員長	物価統制令はまだ存在しているのか。						
事務局	存在している。福井県が指定する普通公衆浴場のみではあるが、大人1人当たり430円である。						

委員長	事務局案問題ないか。
委員	異議なし。
県水受水に対する福井県への特別要望書について	(副市長より福井県への特別要望書をもとに内容の説明)
委員	県水の引き下げについては5年後の起債完了後にと要望しているが、それは何を想定して、その後どのようにしたいのか。
副市長	
(2) 提言書について	(事務局より資料2をもとに提言書内容を説明)
委員	内容が人口減少等に伴う収益減の対策として料金の値上げや経費削減についてしか記載がないが、収益を上げるような施策、例えば企業誘致等の使用量の増加策について記載がない。これまでの議論の中で話題にもしているので、その記載をすべきではないか。
副市長	市内には600戸以上の空き家が存在しており、移住定住のツールとして活用する策を市として考えているし、県外に出た若者が戻ってこないということで市内の企業の魅力を発信するガイドブックを作成し、先般の成人式で配布などしてUターンやIターン、転出抑制など人口減少対策を実施している。企業誘致なども進めていくこととしているので提言書に盛り込みたいがどうか。
委員	了解した。文言については委員長に一任する。
委員	基本水量の10 m ³ までの利用者はどれくらいの割合か。
事務局	水道は34.7%、下水道は28.0%である。
委員長	この件については前回も議論し、約1/3は使用している水や流している汚水に対して料金を払っていないということで、公平性の観点から見れば今回の料金改定を機に基本水量はなくすべきだと考えているが、現状を維

	<p>持することとなった。次回以降の改定においては基本水量をなくすことについて提言書に記載している。</p>
委員長	<p>提言書の本文の中で次回以降の値上げについては決算状況を検証したうえで実施する旨記載しているので、3ページの令和6年の表にはその旨記載したほうがいいだろう。</p>
委員	<p>提言書の記載内容がこれでいいのかがわからないが、今回の値上げに検討委員会として提言に至ったデータ等、水道では老朽化、下水道では企業債償還金の元金や利息、一般会計からの補助金の増大等、説明が記載されるべきではないか。</p>
委員長	<p>提言書に添付資料としてつけることとしていいか。</p>
委員	<p>了承した。内容については委員長に一任する。</p>
(3) 改定に向けた今後の取組み	<p>(事務局より資料3をもとに改定に向けた今後の取組みについて説明)</p>
委員	<p>実際に値上げとなる時期がずれるということは市民にとって不公平とまらないのか。</p>
副市長	<p>隔月検針を採用しているため致し方ない。</p>
委員	<p>料金の値上げを行ったところはあるのか。</p>
事務局	<p>敦賀市があわら市と同じく今年10月から値上げする方向である。また、福井市は昨年1月に値上げしたが、先般新聞報道でもあったが今回の値上げではまだ不足することが予想されることから、5年毎に見直しする方向性であると水道ビジョンに記載したとのことである。そのほか、勝山市や小浜市も検討しているとの噂を聞いている。全国ではたくさんの事業者が値上げをするとの報道がされている。</p>
委員	<p>水道の民営化の話聞くが大丈夫か。</p>
事務局	<p>水道の完全民営化は、水道法でできないこととなっている。そのため報道されているような外国の問題は発生しない。最近、全国で普及してきて</p>

	<p>いるもので包括委託というものがあるが、これは市が行う業務を民間に委託する、業務を市の職員ではなく民間の職員が行うというものであるため、市の監視下のもとにおかれる。</p>
委員	<p>下水道については処理区域を拡大する、水洗化率を上げるなどの対策も必要なのではないかと。普及率などはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>下水道の整備率は平成 31 年 3 月末で 83%である。また、接続率については昨年 11 月末現在で 93.7%である。接続されていない世帯を見ると高齢者一人世帯などが多い。</p>
委員長	<p>下水道の普及や接続率の向上についても提言書に記載すべきだと思いがいかがか。</p>
委員	<p>了解した。内容については委員長に一任する。</p> <p>(委員長挨拶)</p> <p>(副委員長挨拶)</p> <p>(副市長挨拶)</p>